

資料編

I 第5次えびの市総合計画の
振り返り検証

II 用語集

III 第6次えびの市総合計画
策定経過

IV 第6次えびの市総合計画
諮問書

V 第6次えびの市総合計画
答申書

VI えびの市総合開発審議会条例

VII えびの市総合開発審議会
委員名簿



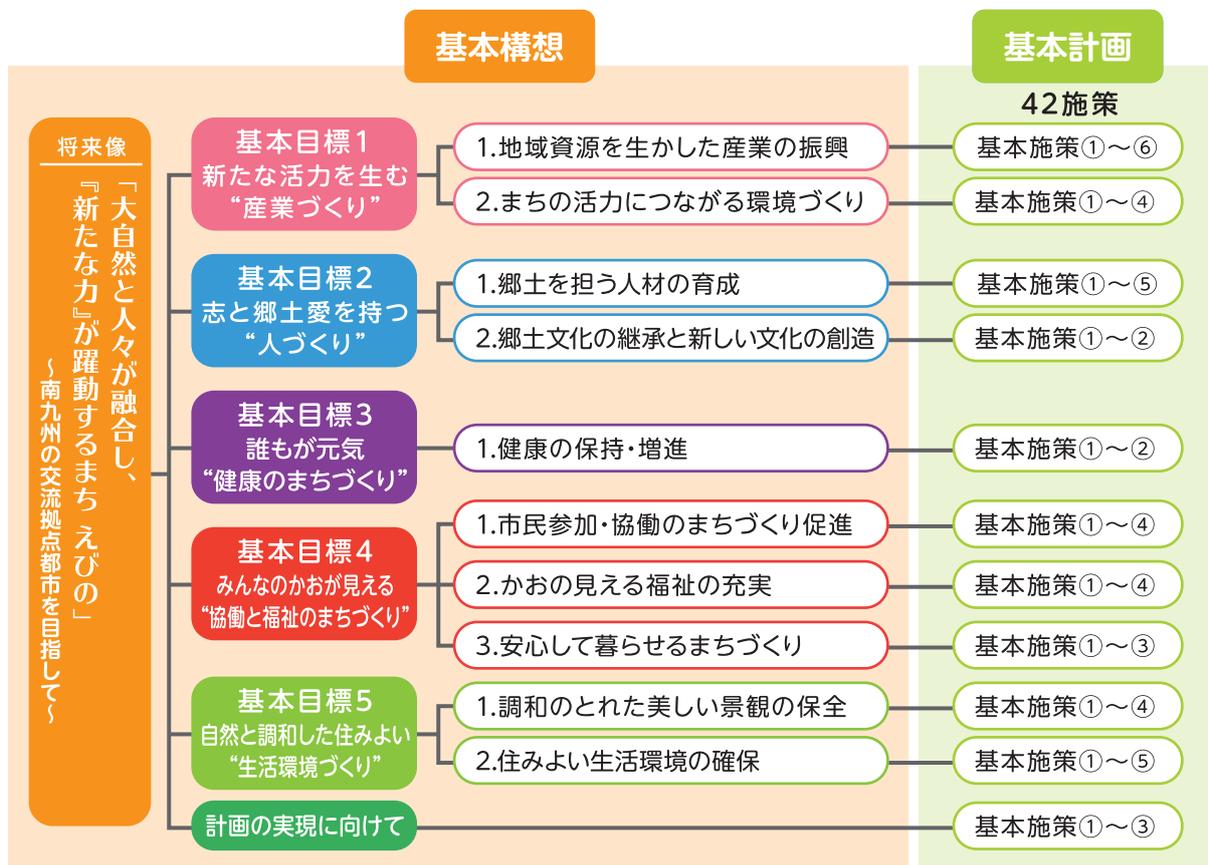
第5次えびの市総合計画の 振り返り検証

第5次えびの市総合計画の振り返り検証

第5次えびの市総合計画後期基本計画(平成29(2017)年度～令和3(2021)年度)では、5つの基本目標等の下での42の基本施策において、それぞれ目標指標(数値目標)を設定していました。

「第6次えびの市総合計画」を策定するに当たり、前総合計画における成果指標の達成状況を検証しました。

【第5次えびの市総合計画構成のイメージ図】



【達成状況の評価判定】

成果指標の達成状況の評価に当たっては、以下の基準により判定しています。

- A 評価：達成率が90%以上120%未満
- B 評価：達成率が120%以上、又は、80%以上90%未満
- C 評価：達成率が70%以上80%未満
- D 評価：達成率が70%未満
- 達成率なし：指標が未公表、あるいは廃止されたなどにより評価できないもの

基本目標1.新たな活力を生む“産業づくり”

—1.地域資源を生かした産業の振興—

- ☑ 基本施策1-1-2「畜産の振興」については、一定の成果が見られています。今後も、一層生産額を拡大していけるよう、畜産人材の確保をはじめ、経営基盤の強化のための取組について、更なる充実を図っていきます。
- ☑ 他方、基本施策1-1-1「農業の振興」については、その多くの指標で目標を達成できていません。今後より一層、多様な担い手の確保をはじめ、農産物のブランド化推進に向けて、取組を進めていく必要があります。

基本施策名		「第5次えびの市総合計画後期基本計画」における成果指標		達成状況	
		目標指標名	目標(R3)	実績(R2)	判定
1	農業の振興	認定農業者(家)数	320 経営体	278 経営体	B評価
		新規就農者数	7人/年	2人/年	D評価
		道の駅来場者数	800 千人/年	477 千人/年	D評価
		道の駅売上額	600 百万円/年	386 百万円/年	D評価
		6次産業化の取組事例数	10件	2件	D評価
		農家民泊受入れ農家数	30軒	18軒	D評価
2	畜産の振興	肉用牛の粗生産額	14,000,000 千円/年	13,806,080 千円/年	A評価
		酪農の粗生産額	466,700 千円/年	489,500 千円/年	A評価
		中小家畜(豚・鶏)の粗生産額	7,100,000 千円/年	7,677,516 千円/年	A評価
3	林業の振興	間伐実施面積	90ha/年	55ha/年	D評価
		森林ボランティア活動人数	250人/年	38人/年	D評価
		林道など路網の開設延長	2,000 m/年	2,751 m/年	B評価
		植栽の推進	16ha/年	14ha/年	B評価
		新規林業就業者数	10人	3人	D評価

基本施策名		「第5次えびの市総合計画後期基本計画」における成果指標		達成状況	
		目標指標名	目標(R3)	実績(R2)	判定
4	商工業の振興	商工会会員数	600人	602人	A評価
		中小企業融資貸付金実行件数	70件	21件	D評価
		物産振興イベント参加業者数(延べ)	100事業者	15事業者	D評価
		創業数	10件	17件	B評価
		空き施設利用件数	5件	6件	B評価
		事業承継 個別相談件数	15件	2件	D評価
		制度融資 利用件数	26件	7件	D評価
5	企業立地施策の推進	企業立地件数	10件	5件	D評価
		企業立地に関する出張・企業訪問・相談数	130回/年	111回/年	B評価
		異業種交流会開催回数	2回/年	0回/年	D評価
		立地企業による新規雇用者数	250人	55人	D評価
		就職説明会参加者数	40人/年	7人/年	D評価
		市内高校新卒者の就職人数	10人/年	8人/年	B評価
		U/Iターン者が就労しやすいまちだと思ふ市民の割合	30.0%	8.3%	D評価
6	観光の振興	スポーツ合宿の補助団体数	100団体/年	21団体/年	D評価
		道の駅来場者数(再掲)	800千人/年	477千人/年	D評価
		特定地域への入込客数(えびの高原・京町温泉・白鳥温泉)	1,300,000人/年	891,517人/年	D評価
		地域の観光資源を生かしていると思ふ市民の割合	30.0%	14.7%	D評価

基本目標1.新たな活力を生む“産業づくり”

—2.まちの活力につながる環境づくり—

- ☑ 基本施策1-2-2「道路の整備」については、一定の成果が見られています。引き続き、幹線道路及び生活道路の整備を進めるとともに、適切な維持管理を図っていきます。
- ☑ 他方、基本施策1-2-4「基地対策の推進」については、目標を達成できていませんが、新型コロナウイルス感染症の影響による部分もあったため、社会経済状況に応じて適切に取組を見直していく必要があります。

基本施策名	「第5次えびの市総合計画後期基本計画」における成果指標		達成状況		
	目標指標名	目標(R3)	実績(R2)	判定	
1 計画的な土地利用の推進	地籍調査進捗率	60.0%	57.3%	A評価	
2 道路の整備	過疎対策事業進捗率	80.0%	69.1%	B評価	
	国道・県道・市道は利用しやすいと思う市民の割合	60.0%	62.9%	A評価	
3 地域情報化の推進	マイナンバーカード交付率	40.0%	31.8%	C評価	
	マイナンバーカードを利用したサービス数	3本	3本	A評価	
4 基地対策の推進	防衛省等への要望活動回数	4回/年	1回/年	D評価	
	市民参加型の自衛隊との交流事業	4回/年	1回/年	D評価	

基本目標 2. 志と郷土愛を持つ“人づくり”

—1. 郷土を担う人材の育成—

- ☑ 基本施策2-1-1「学校教育の充実」については、一定の成果が見られています。今後も、より質の高い幼保・小・中一貫教育を推進していくとともに、更なる教育環境の整備・充実を図っていきます。
- ☑ 他方、基本施策2-1-4「スポーツの振興」については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標を達成できていませんが、総合型地域スポーツクラブの維持存続のため、適時適切に施設の修繕・改修を実施していきます。

基本施策名	「第5次えびの市総合計画後期基本計画」における成果指標		達成状況	
	目標指標名	目標 (R3)	実績 (R2)	判定
1 学校教育の充実	学校が楽しいと感じる子どもの割合 (小学校)	100.0%	82.0%	B評価
	学校が楽しいと感じる子どもの割合 (中学校)	100.0%	81.5%	B評価
	地域活動への参加率 (小学校)	100.0%	57.4%	D評価
	地域活動への参加率 (中学校)	100.0%	57.2%	D評価
	老朽校舎改修率 (非構造部分)	75.0%	75.0%	A評価
	屋内運動場改修率	89.0%	77.8%	B評価
	プール改修率	88.0%	87.5%	A評価
	空調整備率 (普通教室等)	100.0%	100.0%	A評価
	子どもの能力・適性に応じた教育が行われていると思う市民の割合	50.0%	37.1%	C評価
2 青少年の健全育成	家庭教育学級参加者数 (延べ)	2,000人	553人	D評価
	世代間交流体験活動事業実施自治会	60自治会/年	57自治会/年	A評価
	世代間交流事業数	100件/年	108件/年	A評価
	青少年体験講座参加者数	80人/年	0人/年	D評価
	世代を超えた地域交流が行われていると思う市民の割合	35.0%	29.3%	B評価

基本施策名		「第5次えびの市総合計画後期基本計画」における成果指標	達成状況		
			目標指標名	目標(R3)	実績(R2)
3	生涯学習の促進	生涯学習講座の開講数	30講座/年	24講座/年	B評価
		市民図書館利用者数	35,000人/年	20,250人/年	D評価
		出前講座開催数	60講座/年	20講座/年	D評価
		生涯学習活動を行っている市民の割合	20.0%	13.9%	D評価
4	スポーツの振興	スポーツ大会等開催数	28回/年	9回/年	D評価
		総合型地域スポーツクラブ加入数	2,100人	548人	D評価
		体育施設の使用人数	188,000人/年	117,215人/年	D評価
		スポーツ活動を行っている市民の割合	40.0%	26.4%	D評価
5	人権意識の高揚	人権学習講座回数	20回/年	5回/年	D評価
		人権セミナー参加者数	220人/年	155人/年	C評価
		人権を考える市民のつどい参加者数	520人/回	0人/回	D評価
		人権について正しく理解していると思う市民の割合	50.0%	40.2%	B評価

基本目標 2. 志と郷土愛を持つ“人づくり”

— 2. 郷土文化の継承と新しい文化の創造 —

☑ 基本施策2-2-1「文化芸術活動の促進」、基本施策2-2-2「国際交流の充実」とともに、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、多くの指標で目標を達成できていません。他方で、郷土芸能をはじめ、芸術・文化に触れる機会を今後も確保していくため、他の自治体の取組状況も参考にしながら、社会経済状況に応じて、柔軟に支援策を検討していく必要があります。

基本施策名		「第5次えびの市総合計画後期基本計画」における成果指標		達成状況	
		目標指標名	目標 (R3)	実績 (R2)	判定
1	文化芸術活動の促進	市民発表事業参加人数	1,600人/年	568人/年	D評価
		自主文化事業及び文化講座参加者数	1,600人/年	448人/年	D評価
		歴史民俗資料館入館者数	9,000人/年	3,725人/年	D評価
		歴史や文化が継承されていると思う市民の割合	40.0%	28.4%	C評価
2	国際交流の充実	国際交流事業参加者数	1,000人/年	321人/年	D評価

基本目標 3. 誰もが元気“健康のまちづくり”

—1. 健康の保持・増進—

- ☑ 基本施策3-1-1「健康づくりの推進」については、一定の成果が見られているものの、いまだ各種健(検)診受診率が低い状況にあるため、受診勧奨方法を工夫するとともに、更なる受診環境の整備を図っていきます。
- ☑ また、基本施策3-1-2「地域医療体制の整備」についても、一部成果が見られているものの、適正な医療機関へのアクセスを確保するため、引き続き、地域医療体制、救急医療体制の整備を図っていきます。

基本施策名	「第5次えびの市総合計画後期基本計画」における成果指標		達成状況	
	目標指標名	目標(R3)	実績(R2)	判定
1 健康づくりの推進	特定健康診査受診率	65.0%	42.9%	D評価
	胃がん検診受診率	6.7%	2.4%	D評価
	大腸がん検診受診率	16.2%	9.2%	D評価
	肺がん検診受診率	15.7%	4.3%	D評価
	子宮がん検診受診率	25.0%	10.9%	D評価
	乳がん検診受診率	20.3%	9.7%	D評価
	3か月児健康診査受診率	100.0%	95.7%	A評価
	1歳6か月児健康診査受診率	100.0%	95.6%	A評価
	3歳児健康診査受診率	100.0%	93.1%	A評価
	自分で積極的に健康づくりに取り組んでいる市民の割合	45.0%	49.9%	A評価
2 地域医療体制の整備	専門職就職者数(看護師)	40人	16人	D評価
	かかりつけの医師(医療機関)を持っている市民の割合	70.0%	70.4%	A評価

基本目標 4.みんなのかおが見える“協働と福祉のまちづくり” —1.市民参加・協働のまちづくり促進—

- ☑ 基本施策4-1-4「情報共有化の推進」については、一定の成果が見られています。今後も、市民が必要とする情報等を適切なタイミング・手段で発信できるよう、SNSの更なる活用法等を検討し、充実を図っていきます。
- ☑ 他方、基本施策4-1-3「男女共同参画の推進」については、多くの指標で目標を達成できていません。SDGsの観点からも、固定的な社会慣習・慣行を変革していくとともに、職場環境の改善を図っていく必要があります。

基本施策名	「第5次えびの市総合計画後期基本計画」における成果指標		達成状況	
	目標指標名	目標(R3)	実績(R2)	判定
1 市民協働によるまちづくり	ぷらいど21助成事業活用団体会員数	300人/年	0人/年	D評価
	地域づくり研修会等参加者数	400人/年	281人/年	C評価
	地域行事・活動に参加している市民の割合	70.0%	59.9%	B評価
	地域運営協議会設置数	4地区	4地区	A評価
	市民活動支援センター活用団体数	20団体	7団体	D評価
	地域おこし協力隊員受入れ数	17人	5人	D評価
	ボランティア活動件数	2,000件	1,718件	B評価
	ボランティア登録数	80団体	73団体	A評価
		270人	151人	D評価
ふだんから近所付き合いがある市民の割合	80.0%	66.9%	B評価	
2 市民参画による行政の推進	市民提案制度実施数	5件	2件	D評価
	座談会等の住民参加者数(延べ)	310人/年	0人/年	D評価
	市民モニターアンケート回答率	90.0%	85.7%	A評価

基本施策名		「第5次えびの市総合計画後期基本計画」における成果指標	達成状況		
			目標指標名	目標(R3)	実績(R2)
3	男女共同参画の推進	男女共同参画フォーラム等参加者数	400人/年	66人/年	D評価
		審議会等における女性登用率	30.0%	25.6%	B評価
		男女共同参画が推進されていると思う市民の割合	40.0%	18.8%	D評価
4	情報共有化の推進	市ホームページへのアクセス件数	155,000件/年	447,642件/年	B評価
		Facebookページのファン数	4,000件	2,197件	D評価
		行政情報がよく伝わっていると思う市民の割合	50.0%	47.4%	A評価

基本目標 4.みんなのかおが見える“協働と福祉のまちづくり” —2.かおの見える福祉の充実—

- ☑ 基本施策4-2-2「子育てしやすい環境づくり」については、一部の指標で目標を達成できていません。特に「安心して子どもを産み育てやすいと思う市民の割合」は年々向上してきているものの、依然として低い状況です。
- ☑ また、基本施策4-2-4「障がいのある人が安心して暮らせる環境づくり」についても、一部の指標で目標を達成できていません。特に「障がいのある人が安心して暮らせる環境だと思う市民の割合」はかなり低い状況です。本市に住む様々な属性の市民一人ひとりが安心して暮らせるまちとなるよう、更なる施策の充実を図っていきます。

基本施策名	「第5次えびの市総合計画後期基本計画」における成果指標		達成状況		
	目標指標名	目標 (R3)	実績 (R2)	判定	
1 地域福祉の推進	地域支え合い事業実施自治会数	64自治体	48自治体	C評価	
2 子育てしやすい環境づくり	出生数	157人/年	84人/年	D評価	
	待機児童数(保育所等)	0人/年	0人/年	A評価	
	保育料無料化の多子世帯児童数	160人/年	251人/年	B評価	
	安心して子どもを産み育てやすいと思う市民の割合	50.0%	34.4%	D評価	
3 高齢者が安心して暮らせる環境づくり	高齢者クラブ支援団体数	55クラブ	47クラブ	B評価	
	高齢者クラブ会員数	1,850人	1,584人	B評価	
	シルバー人材センター会員数	230人	181人	C評価	
	タクシー利用券利用枚数	11,000枚/年	7,867枚/年	C評価	
	シルバー人材センター就業延べ人日	26,500人日/年	15,976人日/年	D評価	
	介護福祉士就職確保者数	40人	18人	D評価	
	百歳体操実施会場数	65会場	63会場	A評価	
	介護予防サポーター養成数	480人	425人	B評価	
認知症サポーター養成数	1,862人	1,922人	A評価		

基本施策名		「第5次えびの市総合計画後期基本計画」における成果指標	達成状況		
			目標指標名	目標(R3)	実績(R2)
3	高齢者が安心して暮らせる環境づくり	小菜園づくり事業実施自治会数	3(新規)自治会/年	1(新規)自治会/年	D評価
			10(継続)自治会/年	3(継続)自治会/年	D評価
		生活支援サービス利用者数	120人/年	111人/年	A評価
4	障がいのある人が安心して暮らせる環境づくり	施設入所者の地域生活への移行者数	1人	2人	B評価
		福祉施設から一般就労への移行者数	2人	2人	A評価
		障がい者住宅改造費助成件数	2件/年	0件/年	D評価
		障がいのある人が安心して暮らせる環境だと思ふ市民の割合	30.0%	19.6%	D評価

基本目標 4.みんなのかおが見える“協働と福祉のまちづくり” —3.安心して暮らせるまちづくり—

☑ 基本目標4のうち「3.安心して暮らせるまちづくり」の基本施策全体として、一定の成果が見られています。今後も、日常生活における交通安全対策を推進するとともに、相次ぐ自然災害にも対応できるよう、地域防災力の向上に努めながら、災害予防対策を更に推進していきます。

基本施策名		「第5次えびの市総合計画後期基本計画」における成果指標		達成状況	
		目標指標名	目標(R3)	実績(R2)	判定
1	日常生活における安全の確保	補助対象防犯灯設置総数	1,100灯	1,283灯	A評価
		犯罪の少ない安心して暮らせるまちと思う市民の割合	70.0%	71.2%	A評価
		歩行者等にとって交通が安全と思う市民の割合	40.0%	30.3%	C評価
2	防災対策の充実・強化	消火栓設置総数	410基	415基	A評価
		防災士資格取得者数	65人	66人	A評価
		緊急通報サービス登録件数	2,000件	1,629件	B評価
		様々な災害に対し安心して暮らせると思う市民の割合	60.0%	29.5%	D評価
3	社会保障の確保	国民健康保険税収納率	95.19%	95.13%	A評価

基本目標 5. 自然と調和した住みよい“生活環境づくり”

— 1. 調和のとれた美しい景観の保全 —

☑ 基本目標5のうち「1.調和のとれた美しい景観の保全」の基本施策全体として、一定の成果が見られています。今後も、環境保全活動を推進し、自然環境の保護を図るとともに、ごみの減量化・リサイクル等を更に推進していきます。なお、「ごみのリサイクル率」に関しては、目標を達成しているものの、依然として改善の余地があるため、市広報誌等を活用し、わかりやすく、伝わりやすい方法により意識向上を図っていきます。

基本施策名		「第5次えびの市総合計画後期基本計画」における成果指標		達成状況	
		目標指標名	目標 (R3)	実績 (R2)	判定
1	自然環境の保全	河川水質検査箇所	7箇所/年	7箇所/年	A評価
		河川水質検査の広報	2回/年	2回/年	A評価
2	景観形成の推進	自然環境を大切にしていると思う市民の割合	50.0%	57.4%	A評価
3	河川汚濁処理対策の推進	生活排水処理率	75.0%	68.4%	A評価
		合併浄化槽補助設置基数	130基/年	76基/年	D評価
4	資源循環型社会の推進	ごみ排出量「市民1人・1日当たり」	860g	885g	A評価
		ごみのリサイクル率	13.0%	12.5%	A評価
		ごみ不法投棄件数	95件/年	73件/年	B評価
		ごみ分別ができていると思う市民の割合	80.0%	91.2%	A評価

基本目標 5. 自然と調和した住みよい“生活環境づくり”

— 2. 住みよい生活環境の確保 —

- ☑ 基本施策5-2-1「安全でおいしい水の安定的な供給の確保」については、一定の成果が見られています。今後も、持続可能な水道事業を実現するため、計画的かつ効率的な運営・維持管理を実施していきます。
- ☑ 他方、基本施策5-2-5「公共交通手段の確保」については、その多くの指標で目標を達成できていません。特に、「公共交通を利用しやすいと思う市民の割合」の向上が課題であり、取組の見直しが必要です。

基本施策名	「第5次えびの市総合計画後期基本計画」における成果指標		達成状況	
	目標指標名	目標 (R3)	実績 (R2)	判定
1 安全でおいしい水の安定的な供給の確保	水道普及率	93.0%	92.0%	A評価
	水道法で定める水質基準適合検査結果	適合	適合	A評価
	統合が必要な簡易水道組合数	4組合	4組合	A評価
	水道水が安定的に供給されていると思う市民の割合	83.7%	84.3%	A評価
2 市民の憩いの場の整備	運動公園利用者数	109,000人/年	48,013人/年	D評価
	公園・広場・遊び場について満足している市民の割合	40.0%	26.0%	D評価
3 住宅対策の推進	市営住宅戸数	459戸	486戸	A評価
	空き家バンク新規登録物件数	25件/年	31件/年	B評価
	現在の住まいに、今後も安心して住み続けられると思う市民の割合	60.0%	57.6%	A評価
4 移住・定住の推進	市の制度活用による移住世帯数	30世帯/年	42世帯/年	B評価
	定住促進住宅入居戸数	48戸	35戸	C評価
	男女の出会いの場創出支援回数	8回/年	0回/年	D評価
	結婚サポートセンター登録者数	30人	12人	D評価
	新婚世帯家賃助成利用件数	30件/年	51件/年	B評価
	Facebookページのファン数(再掲)	4,000件	2,197件	D評価

基本施策名		「第5次えびの市総合計画後期基本計画」における成果指標	達成状況		
			目標指標名	目標(R3)	実績(R2)
4	移住・定住の推進	報道機関への取材依頼件数	136件/年	102件/年	C評価
		ふるさと納税寄附件数及び金額	25,000件/年	29,772件/年	A評価
			600百万円/年	613百万円/年	A評価
5	公共交通手段の確保	公共交通を利用しやすいと思う市民の割合	25.0%	11.0%	D評価
		鉄道・路線バスの利用者数	160,000人/年	—	達成率なし
		鉄道の平均通過人員	600人/日	408人/日	D評価
		路線バスの乗車人員	27,483人/年	29,618人/年	A評価

計画の実現に向けて

- ☑ 基本施策「行財政改革の推進」については、一定の成果が見られています。今後も、将来にわたって安定的な財政運営を確保していけるよう、不断に見直しを実施していきます。
- ☑ 他方、基本施策「計画的な行政運営」については、目標を達成できていません。施策の効果が十分でないものは検証し改善していくとともに、適切な目標指標の設定についても、点検・見直しを実施していく必要があります。

基本施策名	「第5次えびの市総合計画後期基本計画」における成果指標		達成状況	
	目標指標名	目標(R3)	実績(R2)	判定
計画的な行政運営	総合計画目標指標の達成度(目標指標を達成できた項目数の割合)	100.0%	28.5%	D評価
行財政改革の推進	経常収支比率	96.4%	91.8%	A評価
	自主財源比率	33.9%	32.6%	A評価
	効率的に財政運営を行っていると思う市民の割合	30.0%	23.8%	C評価
広域行政の推進	市町村連携事業数	10事業	1事業	D評価
	にしもろ定住自立圏共生ビジョンに位置づけた事業による交流人口数	1,500人	0人	D評価
	定住自立圏推進事業数	65事業	54事業	B評価

序
論

基本構想

基本計画

表

1

2

3

4

資料編

索引	用語	意味	ページ
あ	空き家バンク	空き家物件の情報をデータベース化したもの。	P126 P127 P156
	移動率	全人口に対する移動者数(転入者・転出者)の比率。転入者が転出者より多ければプラスになる。	P40 P41 P42
か	買い物難民	食料品や日用品といった、日常の買い物に困難を感じている人。	P90
	ゲリラ豪雨	突発的な集中豪雨を指す通称。	P104
	健康寿命	健康上の問題で日常生活に制限されることなく生活できる期間。平均寿命から寝たきりや認知症など介護状態の期間を差し引いた期間。	P7 P72 P73
	合計特殊出生率	その年次の15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。	P16 P21 P44
	公債費負担比率	自治体の一般財源総額に占める公債費の比率。	P135
	コミュニティ・スクール	学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能になり、地域と一体になって特色ある学校づくりを進めていくことができる仕組み。	P110 P111
さ	ジェネリック医薬品	新薬(先発医薬品)の特許が切れた後に製造販売される薬。新薬と同じ有効成分を含み、同等の効能・効果が得られ低価格である。	P73 P74
	社会的孤立	家族や地域社会との関係が希薄で、他者との接触がほとんどない状態。	P81
	小1プロブレム	小学校に入学したばかりの1年生が、集団行動がとれない、授業中に椅子に座ってられないなど、小学校の生活になかなかなじめない状況になること。	P9
	スポーツ・レクリエーション	幼児から高齢者まで、生涯を通して、誰でも楽しんでプレイできるスポーツ。	P116
	スマートウエルネスシティ	高齢化・人口減少が進んでも地域住民がそこで暮らすことで健幸(身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心・安全で豊かな生活を送れること)になれるまちのこと。	P7 P72 P73
	スマート畜産	ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用した畜産業。	P97
	スマート農業	ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業。作業の自動化、情報共有の簡易化、データの活用などにより生産現場が抱える課題を解決することが期待されている。	P8 P97 P102

索引	用語	意味	ページ
た	ダブルケア	親の介護と子育てに同時に直面していること。	P81
	地域商社	地域産品のマーケティング・販路開拓を行いつつ、他地域との連携などにより域外からの投資を呼び込むようなビジネスモデルを構築する組織。	P57 P92 P97
	地域包括ケアシステム	重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が地域において一体的に提供されるシステム。	P76 P77 P85
	中1ギャップ	児童が、小学校から中学校への進学において、新しい環境での学習や生活になじめずに、不登校になったりする問題。	P9
	テレワーク	企業や団体の従業員や職員が、事業所や事務所以外の遠隔の場所(自宅やカフェ、コワーキングスペースなど)で業務を行うこと。リモートワークともいう。	P131
な	2025年問題	2025年にいわゆる「団塊の世代」が後期高齢者(75歳)となり、国民の4人に1人が後期高齢者になる超高齢化社会を迎えることで、雇用、医療、福祉など、様々な分野に影響を与えることが予想されること。	P7
は	8050問題	ひきこもり生活を続けるなどして、安定した収入がないまま50歳近くに達した子と80歳近くとなった親の世帯。養い続けてきた親が年齢のため就労が困難となり、親なき後は周囲からの孤立・困窮に追い込まれるといった社会問題のこと。	P81
	パブリックコメント	行政等の計画案を公表し、この計画案に対して広く公に(=パブリック)、意見・情報・改善案など(=コメント)を求める手続のこと。	P131 P164
ま	マイクロツーリズム	近隣地域内での観光のこと。	P8
	マイナポータル	政府が運営するオンラインサービス。子育てや介護をはじめとする行政手続の検索やオンライン申請がワンストップでできたり、行政機関からのお知らせを受け取ることができる。	P127 P128
	メンタルヘルス	心の健康、精神衛生。	P131
や	4R	廃棄物減量のキャッチフレーズとして使われる言葉。リフューズ(拒否)・リデュース(消費削減)・リユース(再使用)・リサイクル(再生利用)を合わせて4Rという。また、「リフューズ」の代わりに「リペア(修理)」を加えて4Rとする場合もある。	P86 P88

索引	用語	意味	ページ
ら	ライフサイクルコスト	製品や構造物を取得・使用するために必要な費用の総額。	P111
	林業イノベーション	ICT等を活用した新たな技術等を導入し、造林から伐採・搬出に至る作業の省力化・軽労化を図り、安全で効率的な林業を目指すもの。	P103
	倫理的消費 (エシカル消費) 行動	環境や社会に配慮した製品やサービスを選んで消費すること。	P86
	労働力率	就業者数と完全失業者数を合わせた労働力人口が15歳以上の人口に占める割合。	P70
わ	ワーク・ライフ・バランス	老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について自ら希望するバランスで展開できる状態。	P90
	ワーケーション	Work(仕事)とVacation(休暇)を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、リゾート地や温泉地、国立公園等、ふだんの職場とは異なる場所で余暇を楽しみつつ仕事を行うこと。	P8
A	AI	「Artificial Intelligence」(人工知能)の略。人間の思考プロセスと同じような形で動作するプログラム、あるいは人間が知的と感じる情報処理・技術。	P9 P10 P97
D	DV	「Domestic Violence(ドメスティック・バイオレンス)」の略。明確な定義はないが、日本では「配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力」という意味で使用されることが多い。	P130
	DX	「Digital Transformation(デジタル・トランスフォーメーション)」の略。企業や行政機関等が環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務や、組織、プロセス、組織文化・風土を変革すること。	P8 P10
G	GIGAスクール構想	小中高等学校などの教育現場で、児童・生徒が1人1台のパソコンやタブレットなどのICT端末を活用できるようにする取組。「GIGA」は「Global and Innovation Gateway for All」(全ての児童・生徒のための世界につながる革新的な扉)を意味する。	P9 P111
I	ICT	「Information and Communication Technology」(情報通信技術)の略。通信技術を活用したコミュニケーションを指し、情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称。	P8 P9 P85 P110 P111 P131

索引	用語	意味	ページ
I	IoT	「Internet of Things」(モノのインターネット)の略。コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体(モノ)に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。	P9
L	LED	「Light Emitting Diode」(発光ダイオード)の略。従来の電球と比べて、消費電力が少なく、寿命が長いのが特徴。	P112
O	OJT	「On-the-Job Training」の略。職場での実務を通じて業務知識等を身につける育成手法のこと。	P132
P	PDCAサイクル	事業活動における生産管理や品質管理などの管理業務を円滑に進める手法の一つ。Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。	P5 P126
	PHR	「Personal Health Record(パーソナル・ヘルス・レコード)」の略。患者が自らの医療健康情報にアクセス、管理、共有することを可能にする仕組みのこと。	P7
R	RPA	「Robotic Process Automation(ロボティック・プロセス・オートメーション)」の略。ロボットによる業務自動化を意味する。	P10
S	SNS	「Social Networking Service」の略。人と人とのつながりを通じて新たな人間関係を築く場をウェブサイトで提供する会員制サービス。	P127 P128 P132 P150

第6次えびの市総合計画 策定経過

月 日	事 項
令和2年11月30日	市民アンケート実施
12月11日	市内関係団体アンケート実施
令和3年 1月28日	第5次えびの市総合計画庁内振り返り検証ヒアリング①
1月29日	第5次えびの市総合計画庁内振り返り検証ヒアリング②
2月 2日	第5次えびの市総合計画庁内振り返り検証ヒアリング③
2月 3日	第5次えびの市総合計画庁内振り返り検証ヒアリング④
2月10日	市職員、子育て世代、市内企業アンケート実施
5月19日	市長トップインタビュー
7月10日	市民ワークショップ*
7月29日	第1回 えびの市総合開発審議会
8月 3日	第1回 えびの市総合計画策定会議
10月25日	えびの未来カフェ参加
11月 8日	第2回 えびの市総合開発審議会
11月15日	第2回 えびの市総合計画策定会議
11月15日	市民アンケート実施
11月22日	庁内各課ヒアリング①
11月24日	庁内各課ヒアリング②
11月25日	庁内各課ヒアリング③
11月26日	庁内各課ヒアリング④
12月23日	第3回 えびの市総合開発審議会
12月27日	パブリックコメントの実施(令和4年1月25日まで)
令和4年 2月 1日	第4回 えびの市総合開発審議会
2月 8日	えびの市総合開発審議会より市長への答申

*開催当日に大雨特別警報が発令されたため、後日書面開催

え企発第901号
令和3年11月8日

えびの市総合開発審議会
会長 松元 國治 様

えびの市長 村岡 隆明

「第6次えびの市総合計画」の策定について（諮問）

このことについて、えびの市総合開発審議会条例第1条の規定に基づき、第6次えびの市総合計画（案）について諮問いたします。

（文書取扱 企画課）

令和4年2月8日

えびの市長 村岡 隆明 様

えびの市総合開発審議会
会長 松元 國治

第6次えびの市総合計画について（答申）

令和3年11月8日付けえ企発第901号で諮問のありました「第6次えびの市総合計画（案）」について、当審議会で慎重に協議を重ねた結果、おおむね妥当と認めますので、別冊のとおり答申いたします。

なお、答申に伴い、当審議会において出された主な意見については別紙のとおりでありますので、総合計画の推進に当たっては十分に尊重するとともに、本計画において掲げる将来像「えがおが交わり続けるまち」を実現するためにも、時代の変化を的確に捉え、実施計画の点検・見直しを続けながら各種基本施策を着実に進めていくことを期待します。

○えびの市総合開発審議会条例

(昭和45年9月29日えびの町条例第24号)

改正 昭和45年12月1日条例第31号 平成16年12月28日条例第20号

(目的及び設置)

第1条 市の基本構想等について市長の諮問に応じ審議するため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき、総合開発審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(組織)

第2条 審議会は委員15人以内で組織する。

(委員)

第3条 委員は、次に掲げる者のうちから、必要の都度市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者 10人以内
 - (2) その他市長が必要と認める者 5人以内
- 2 委員は、当該諮問に係る審議が終了したときは、解任されるものとする。

(会長)

第4条 審議会に会長を置き、委員のうちから互選する。

- 2 会長は会務を総理し、審議会を代表する。
- 3 会長に事故がある場合は、会長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議は市長が招集し、会長が議長となる。

- 2 会議は委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

(幹事及び書記)

第6条 審議会に幹事及び書記各若干人を置き、市職員のうちから市長が任命する。

- 2 幹事は会長の指揮を受けて庶務を処理し、書記は上司の指揮を受けて庶務に従事する。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は市長が定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (昭和45年12月1日条例第31号)

この条例は、昭和45年12月1日から施行する。

附 則 (平成16年12月28日条例第20号)

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

えびの市総合開発審議会 委員名簿

	組織名	氏名
1	えびの市教育委員会	松元 國治
2	えびの市民生委員児童委員協議会	上野 憲昭
3	えびの市農業委員会	前原 幸太郎
4	えびの市農業協同組合	南谷 康雅
5	えびの市商工会	白石 昌彦
6	えびの市観光協会	福元 英雄
7	えびの市自治会連合会	宮浦 佳紀
8	えびの市高齢者クラブ連合会	木野 幸典
9	えびの市PTA連絡協議会	後藤 透
10	えびの市地域婦人連絡協議会	上原 聖
11	えびの青年会議所	阿野 大道
12	えびの市市民団体連絡会議	上水 正喜
13	えびの市社会福祉協議会	益山 憲一
14	真幸まちづくり協議会 加久藤まちづくり協議会 飯野まちづくり協議会 上江まちづくり協議会	地主 俊英
15	一般公募	山内 千寿子

(敬称略・順不同)

序
論

基本構想

基本計画

表

1

2

3

4

資料編

第6次えびの市総合計画

発行年月：令和4年3月

発行：宮崎県えびの市

編集：えびの市 企画課

〒889-4292 宮崎県えびの市大字栗下1292

TEL：0984-35-1111 FAX：0984-35-0401

HP：<https://www.city.ebino.lg.jp>

E-mail：info@city.ebino.lg.jp
